

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）【医学部医学科】

医学部医学科は、国際認証に相応しい医学教育に基づき、学生の知性ならびに人間性・社会性を育むカリキュラムを提供するという観点から、教育課程の編成・実施方針を次のように定めます。

1. 教育課程の編成・実施等

基本的な臨床能力及び基礎的な医学研究能力を備え、生涯にわたり医療、教育、保健・福祉活動を通じて社会に貢献し、医学の発展に寄与することができる人材を養成することを目指し、以下のような学習を実施します。

- ・学生に国際認証に対応した医学的専門知識と技能を体系的に教授することで、医療・医学への洞察を深化させる力を養う。
- ・専門基礎科目により、学生に人類の叡智たる諸学問の構造を俯瞰する機会を提供することで、複眼的思考および多元的価値観に立脚した省察を促す。これにより、高度先端医療や地域医療が抱える複雑な問題の本質を見通す力を養う。
- ・専門科目の演習・実習科目により、学生に高度先端医療や地域医療の実情や問題の複雑さに触れる機会を提供する。これにより、学生が個人およびチームとして問題の解決に挑戦できる力を養う。
- ・専門科目のコア科目により、学生に医学的専門知識と技能を医療・医学の問題解決に応用したり、高度な学識を活かして学術的問題の解決に取り組んだりする機会を提供する。これに加えて各専門領域の深い見識と医療倫理・医学倫理も、実践をとおして培う。
- ・診療参加型実習(臨床実習Ⅰ・Ⅱ)を主体に、学生が医療現場の一員として充実した大学生活を送るとともに、より良い社会の実現に貢献していくことができるように、学生の探究の習慣を確立させる。

2. 教育・学習方法

- (1) 授業科目のナンバリングを定めて年次配置を厳密に行うとともに、卒業までの履修期間の無理なくかつ効果的な学習を促す。卒業時に修得しておくべき能力(卒業時コンピテンシー)が実践できるように各学年のアウトカムを作成して、カリキュラムを構築する。
- (2) 主体的に学び続け、見通す力と解決する力を涵養する教育を行う。
- (3) 自ら課題を見出し、その解決に向けて探究を進め、成果を表現する実践的な能力を身に付けさせるため、学生が主体となる能動的な授業も取り入れる。

3. 学習成果の評価

- (1) 学習成果を厳格に評価するため、カリキュラム・ポリシーに沿って策定された到達目標の到達状況が確認できる明確な成績評価基準を策定し、GPAを用いて教育課程における学習到達度を客観的に評価する。
- (2) 知識、技能及び態度を組み合わせた多面的な評価により、学習成果を評価する。
- (3) 評価の方法には、総括的評価に加えて、各学年のアウトカムに対する形成的評価が含まれる。